



## 課題の特徴（形状や組立機構の魅力、加工難易度）

### 形状や組立機構の魅力など

- ・製品組み立てを行うと③部品が上下前後に可動することが出来ます。
- ・③部品、④部品を①部品、②部品で挟む組み立てを行うため製品組み立て箇所製品の製品寸法に工夫が必要になります。
- ・製品の薄肉部品が多く成形不良がしやすい形状のため製品の配置位置や成形条件の設定に工夫が必要になります。
- ・金型に狭い箇所や円形状箇所など磨きにくい形状が多くあるため磨きでの差が選手によって出やすくなっています。

### 加工難易度など

- ・①部品、②部品の製品組付けをボスで行うため、穴あけの精度が必要になります。
- ・狭い形状でR1の部品が多くあるため、φ2での加工精度が必要になります。
- ・加工時間が前回大会より15分短くなったことで斜辺加工をなくし、その代わりに斜辺以外の形状加工量を増やしました。

